

2018
6

かながわの交通

交通安全年間スローガン受賞作品(警察庁長官賞)
～こども部門～ 中学生以下へ交通安全を呼びかけるもの

良いお手本 なれる自分が カッコイイ



生田緑地ばら苑

(川崎市多摩区)



道路横断には気をつけて!

高齢歩行者の事故が増えています。

油断大敵!

運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう!

歩行者
事故
多発!

◎県内の交通事故発生概況(平成30年5月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数
平成30年		10,772	55	12,735
平成29年		10,871	50	12,881
増減数		-99	+5	-146
増減率		-0.9	+10.0	-1.1

	総数	男	女
県人口	9,177,834	4,578,017	4,599,817
免許人口	5,634,131	3,227,234	2,406,897
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人

(県人口は平成30年5月1日、免許人口は平成30年4月末現在)

関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会会長連名表彰

交通安全功労者、優良交通安全協会、交通安全協会優良職員に対する関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会会長連名等の表彰式が5月18日(金)埼玉県浦和市内で行われました。本県の受賞者(団体)は次のとおりです。(敬称略)

受賞おめでとうございます

● 交通安全功労者(関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会会長連名表彰)

佐藤式彦(山手) 土屋文雄(伊勢佐木) 田中幸男(神奈川)
佐藤信男(鶴見) 青木八重子(保土ヶ谷) 小磯 守(旭) 荒井英彦(港南) 高橋一三(緑) 工藤五三(青葉)
渡辺和夫(都筑) 小原 弘(川崎) 博田 豪(川崎臨港) 中川 潔(幸) 濃沼芳一(多摩) 森 清次(横須賀)
三宅 譲(逗子市) 能本久男(大船) 鈴木秀男(藤沢市) 松本勝義(藤沢北) 露木照政(小田原) 井上 宏(足柄)
吉澤修二郎(相模原) 鈴木貴市(相模原南) 霧生純一(相模原北) 夏苺睦夫(津久井)

※ 配偶者には関東交通安全協会連合会会長から感謝状が贈呈されました。

● 優良交通安全協会(関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会会長連名表彰)

- (一社)南交通安全協会 (会長 置田光男)
- 戸塚交通安全協会 (会長 川邊重男)
- 藤沢市交通安全協会 (会長 山口幸雄)
- 大和綾瀬交通安全協会 (会長 古郡保正)

● 交通安全協会優良職員(関東交通安全協会連合会会長表彰)

久田隆一(鶴見) 佐伯美由紀(青葉) 鍋島英暉(幸)
川村泰代(浦賀) 田村文治(大船) 本多正美、
山本かおり(藤沢市) 一ノ瀬里恵子(県安協)



九都県市一斉自転車マナーアップ強化月間の結果

平成30年5月1日(火)から31日(木)までの1ヶ月間、「九都県市一斉自転車マナーアップ強化月間」を実施しました。

月間中、今年度「自転車交通事故多発地域」に指定された県内14市区町等各地区では、マナーアップキャンペーンやチリリンスクールを開催するとともに、「自転車運転者講習」の受講対象となる危険行為について周知しました。

また「スマホを見ながらの運転」や「危険な歩道通行」など、自転車利用者の交通マナーが低下していることから、高校生などに参加を呼びかけて高校の正門や自転車通行の多い街頭においてチラシ等を配布しながら広報啓発活動を推進しました。



自転車マナーアップ キャンペーン



(座間交通安全協会)



(神奈川交通安全協会)

■ 県内の自転車交通事故発生概況(5月末)

	自 転 車 事 故		
	発生件数	死者数	負傷者数
平成30年	2,495件	7人	2,430人
平成29年	2,483件	5人	2,429人
増減数(率)	+12件(+0.5%)	+2人(+40.0%)	+1人(+0.0%)
構成率	23.2%	12.7%	19.1%

※ 構成率は、平成30年交通事故累計(概数)に占める自転車事故の割合を示す。

「第49回二輪車安全運転神奈川県大会」開催結果

5月26日(土) 神奈川県警察運転免許センターで「第49回二輪車安全運転神奈川県大会」を開催しました。

開会式では、本大会只野副会長、県警察本部西方交通部長の挨拶、主任審判員による競技説明に続いて、選手を代表してBクラスに参加する善積桂子選手が「日頃の安全運転技術を発揮します」などと選手宣誓を行った後、A、B、C、スクーターの各クラス別に分かれて、法規履行走行とコーナーリングやスラロームなどを課題とする技能走行を競いました。



各選手は、少しでも上位に入りたいと練習してきた運転技術を披露し、家族や友人の声援に応えていました。

競技の結果、各クラス優勝者の中で最高成績を収めた個人総合優勝者には、Bクラス石見光隆選手が輝きました。

各クラスごとの入賞者は次のとおりです。

(敬称略)

★ 個人総合優勝 石見光隆

● Aクラス

(51cc以上 400cc以下)

- ・優勝 芦田伸一郎
- ・第2位 藤井峰夫
- ・第3位 中島健三郎

● Bクラス

(401cc以上)

- ・優勝 石見光隆
- ・第2位 佐藤正章
- ・第3位 善積桂子

● Cクラス

(原付 50cc以下)

- ・優勝 加藤由貴子
- ・第2位 須永弘子
- 第3位 林 可愛

● スクータークラス

(51cc以上 250cc以下)

- ・優勝 長塚 伶也
- ・第2位 高雄 宏治
- ・第3位 宇都木 淳也



(左からA、B、C、スクータークラスの優勝者)

優良二輪車安全運転指導員表彰

第49回二輪車安全運転神奈川県大会の当日、開会式の前に、長年にわたり二輪車安全運転の指導員として、二輪車の交通事故防止に貢献された二輪車安全運転特別指導員の高川佳乃さんと同指導員の森 雄一さん(写真)に、(一財)全日本交通安全協会からの楯と記念品、神奈川県二輪車普及安全協会からの記念品が贈られました。



～ 二輪車用エアバッグ体験等 ～

県内の交通死亡事故が減少する中、二輪車乗車中の死亡事故が多発しているため、大会当日、(一社)日本自動車連盟神奈川支部の協力により、会場の一角に交通安全コーナーを設け、運転適性検査、二輪車用エアバッグや二輪車の搬送実演などを行い、多発する二輪車の交通事故防止を呼びかけました。



(交通安全コーナー)

交通安全こども自転車神奈川県大会への取り組み

三浦市交通安全協会 事務長 青木 緑子

当協会では、三浦市内の自転車事故防止の取り組みの一環として、自転車安全運転マナーの向上と、児童の交通事故防止を目的として、自転車マナーアップ大会を平成20年から行っております。

今年は、5月12日（土）、「第11回三浦市自転車マナーアップ大会」を潮風アリーナ(三浦市総合体育館)で行い、三浦市内の8小学校から、8チームと個人2名が参加して、学科テストと実技テストに熱戦を繰り広げ大変盛り上がりしました。

大会の結果は、市立名向小学校Aチームが優勝、市立初声小学校Aチームが準優勝に輝き、この2チームで「第49回交通安全こども自転車神奈川県大会」に臨む予定です。

今回も、三浦市、三崎警察署、三浦市交通安全母の会、三浦市交通安全管理者会と当協会が堅固なスクラムを組んで、万全な態勢で子供達をサポート、バックアップし県大会に挑戦します。



■■■■■■■■■■ 平成29年度事業・決算報告 ■■■■■■■■■■

5月24日、県協会会館において第24回理事会が開催されました。理事会に先立ち、午前に正副会長会議が行われた後、理事、監事19名が出席する中で、「平成29年度神奈川県交通安全協会事業報告」、「平成29年度神奈川県交通安全協会決算報告」等について審議され、いずれも原案どおり承認されました。



～ 各地区で交通安全自転車大会 ～

金沢、厚木警察署管内、三浦市、旭、の各地区交通安全協会では、7月7日に横浜文化体育館で開催される「第49回交通安全こども・第7回高齢者自転車神奈川県大会」を前に、交通安全自転車大会を開催しました。

大会には、市(区)長や警察署長も出席し、県警察、地元警察署交通課、各自治体等の指導協力を得て役員、交通指導員等が学科テスト、実技テスト等を分担して運営しました。金沢では4人の小学生と保護者1人、高齢者1人の三世代、計6人一組のチーム編成で競技し、採点の合間に交通安全DVDを鑑賞する安全教育を実施。旭では区内の小学生と高齢者が参加して開催。厚木警察署管内では、県大会を想定した学科及び実技(安全走行、技能走行)テストを行い、県大会出場候補選手の選抜とレベルアップを確認。三浦市では採点時間を利用して母の会による交通安全紙芝居をしたり、自転車交通安全教室を開催。いずれの地区でも大会を通じて交通ルールの遵守とマナーアップの向上による自転車事故防止を呼びかけました。



① 金沢交通安全協会 (6/2: 金沢地区センター)
第13回金沢区自転車マナーアップ三世代大会



② 厚木警察署管内交通安全協会 (5/12: 清水小学校)
交通安全子供自転車競技大会



③ 三浦市交通安全協会 (5/12: 潮風アリーナ)
第11回三浦市自転車マナーアップ大会



④ 旭交通安全協会 (5/20: 鶴ヶ峰自動車学校)
旭自転車マナーアップ大会

新任事務長紹介 ～ よろしくお願ひします ～

(一財)多摩交通安全協会 小山 義夫 事務長

一般財団法人多摩交通安全協会の事務長に、4月から就任いたしました小山と申します。

今年3月、多摩警察署を最後に神奈川県警察を定年退職しました。多摩区は、私が家庭を持って初めて生活した場所であると同時に、子ども達が育った思い出の場所でもあります。多摩区から転居後、まさか多摩警察署で2度勤務することになるとは思いもしませんでした。何か多摩区とは縁があるようで、今後は、微力ではありますが区内の交通事故防止のため、警察、協会役員、交通指導員の皆様の指導を受けながら、また、関係外郭団体と連携協力して、交通安全意識の高揚を図ってきたいと思います。

出身地は栃木県宇都宮市で、子どもは息子が3人おります、長男と次男は既に家庭を持って独立しており、現在は妻と三男と愛犬一匹で秦野市南矢名で暮らしております。趣味は、20数年前友人に誘われて始めた釣りにハマり、1年を通して季節ごといろいろな釣りを楽しんでいます。



交通事故の悲劇に学ぶ ⑤9

●「その日」 トレーラー運転手(25歳)

私は重大な交通犯罪を犯してしまいました。

その日、私は、大型トレーラーを運転し、取引先で会社に入社したばかりの新人と待ち合わせをして仕事に就きました。仕事の内容は、特殊作業だったので会社からの指示で「積み下ろし、そして目的地までの走る道中、教育してくれ。」と言われ指導していました。

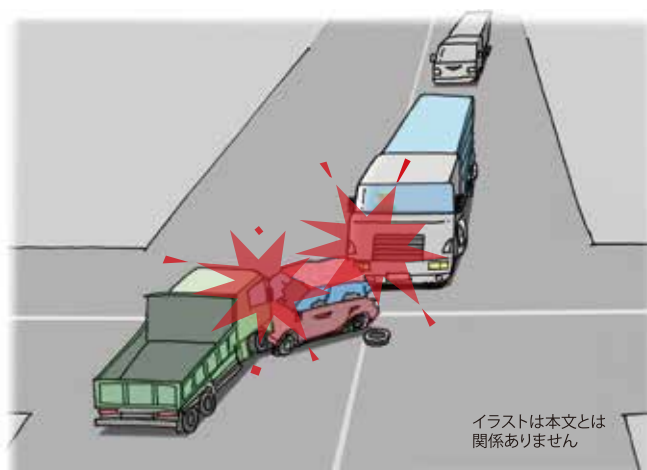
積み込み作業が終わり、私の運転するトレーラーが前を、新人が後ろを運転する形で2台で目的地まで向っていました。

道中、何度も信号や他の車などで離れたりしたので、私はトレーラーのサイドミラーで後方をかなり注視し、運転をしていました。しかし、私は後方を注視していたため、交差点において、右折待ちをしていた被害者の方の乗用車の発見が遅れてしまい、私は急ブレーキ、急ハンドルを切りましたが、避けきれず、被害者の方の運転する車を押し出してしまったばかりでなく、反対車線を走っていた、大型ダンプに衝突してしまいました。

私はすぐに車を止め、被害者の方の車に行きながら、警察と救急車の手配をしようとしていたところ、現場に居合わせた方が「私が手配しているから平気よ。」と、言ってくださったので、私はすぐに被害者の方の車に行き、救急車が来るまでの間、ずっと救護をしていました。

救急車が到着し、警察の方にその場で現行犯逮捕されました。そして取調中に、一名の方が亡くなったのを知らされ、衝撃を受けました。

しかし、この事件を知った被害者ご遺族の方は私が受けた衝撃などとは、比べものにならないほどのショックを受けたと思うと、心が痛みました。その後の刑事裁判で自動車運転過失致死傷罪に付き、禁錮2年の判決を受け、刑務所に入り、受刑してから14ヵ月が過ぎました。



イラストは本文とは関係ありません

その後、教育プログラムを受ける中で、被害者ご遺族の方の心情に目を向けられるようになり、今は一生消えることのない悲しみ、傷を負わせてしまった被害者の方やご遺族の方に対して、本当に申し訳ない気持ちで一杯です。

被害者ご遺族の方とは示談は成立しましたが、だからといって私の償いが終わったのではなく、これからが本当の償いの道が始まると思っています。刑事、民事責任が終わろうと、私には道義的責任があるからです。出所してからが本当の償いの道が始まります。私にできる方法を一生かけて行なおうと思っています。

今回、このような手記を書かせていただき、プロドライバーであったにもかかわらず事件を起こし、被害者の方やそのご遺族の方、そして自分がいた会社、家族、友人などに大変な傷を負わせてしまった私の事件と、今一度向き合いました。受刑生活の中で、教育プログラムを受け、改めて命の大事さ、交通ルールを学び、私自身が生まれ変わって社会復帰し、償いの道を一生かけて行っています。そして私のような事件が二度と起こらないように願っています。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行

「贖いの日々(第50集)」から～

賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- (株)ホンダカーズ横浜 ————— 横浜市保土ヶ谷区岡沢町
- (株)根岸の旗や ————— 横浜市中区伊勢佐木町
- 日産自動車(株)本牧専用埠頭 ————— 横浜市中区錦町

この人
149



(一財)横須賀交通安全協会
会長
中村 昌弘さん
なかむら まさひろ



横須賀交通安全協会の会長に就任して6年目を迎える中村昌弘さんをご紹介します。

会長は、就任早々から横須賀警察署の移転に伴う、協会移転の懸案があり、他の役員の皆様とともに大分ご苦労されたそうです。警察署の敷地やその周辺に事務所を構えることは大変難儀なことでしたが、代々の横須賀警察署長をはじめ各方面の方々から大きなお力添えをいただきつつ、警察署敷地内に事務所を建設する計画を進め一昨年の6月に新事務所が竣工し、やっと肩の荷が下り安堵したと話していました。移転と同時進行で協会を一般財団法人化する手続きも大変でしたが、役員の皆さんと連携し無事完了しました。会長は、すべて皆様のお蔭ですと、謙虚に話されております。

横須賀市は、山坂、トンネルの大変多い町で、地域の特性として通勤や通学、買い物などの移動手段として、自転車よりも二輪車の利用が多いことです。県内の交通事故全体に占める二輪車の関係する事故の割合は、全国平均を上回っていますが、横須賀地区でも地域特性等と相俟って二輪車事故が多発しています。

会長は、二輪車販売店を経営するかたわら、二輪車運転者の安全運転指導を行うため特別指導員の資格を活用し、また横須賀二輪車安全普及協会の活動を通じて、長年

にわたって地元二輪車販売店の指導員の皆様方と協力し、二輪車事故防止活動を活発に行っています。

最近の報道で、歩行中の死亡事故で7歳の児童が最も多いとのデータが紹介されました。この報道を受けて、春の全国交通安全運動の「新入学児童・園児を交通事故から守ろう」の活動として、入学式当日の朝、理事等が当協会から新入学児童約1300人にランドセルカバーなど交通安全グッズを、各小学校を訪問して児童に直接手渡ししながら交通安全を呼びかけており、会長も「今年は、これまで以上に大きな声で交通安全を呼びかけた」と情熱振りを発揮していました。

会長によれば、「我が国では、交通安全教育が諸外国に比べて遅れている。よりよい交通社会人を多く育てるには、できるだけ幼少期より一貫性を持った教育が必要」であると話しています。さらに、交通事故撲滅は官民一体となった繰り返しの活動により、多くの方々に訴え、理解してもらうことが大切であり、そのために警察署や関係団体等の協力をいただきながら、横須賀の地域性に合った活動を辛抱強く進め、悲惨な交通事故を1件でも減らすよう活動を展開していきたいとの抱負を語っています。

(取材協力：(一財)横須賀交通安全協会)

こんにちは
「相模原南交通安全協会」です

当協会地域は、小田急線・JR横浜線・JR相模線などの鉄道網が充実し幹線道路も多く、利便性の良い場所であることに加え、道路は平坦で自転車等での移動が楽な生活道路網が充実している環境が整っていることから、区内の人口は平成21年から本年まで1万人以上増加し、今後も継続して増加が見込まれる地域です。反面、生活道路は道幅は狭く歩車道の区分がない道路がほとんどで、区民の大半は駅周辺2～4キロメートルでの居住者が多く路線バス網が未だ不十分であることから必然的に自転車利用者が増大している現況です。

交通事故の発生状況は、高齢者・子供・自転車ともに、平成30年3月末現

在で県内ワースト5に選出される地域となっております。

交通事故を減少させるためには、道路を拡幅し歩行者・自転車・車両を分離し、安全施設を充実させることが最も有効です。しかし、早急には出来ないことから、当協会では「思いやりゆずるころで 防ぐ事故」「安全は一人一人の思いやり」をテーマに、地区役員による、登下校時の児童に対する通学路での交通指導誘導、事故多発地域に「交通安全」「飛出し注意」等のぼり旗を(300カ所以上)掲出し、毎月1日(県民交通安全日)15日(高齢者交通安全日)20日(相模原市民交通安全日)は、警察署・区役所・推進委員協議会と協力し朝夕2回の交通広報を行っております。更に、各季の交通安全運動期間中は、毎日広報車による広報を実施し、



警察署、区役所、交通関係団体等と連携し交通事故多発路線・地域で合同キャンペーンを行うなど、地域の交通安全意識の高揚を最重点に活動するとともに、各種の集りに積極的に参加して地域の交通実態の周知と改善に努めているところです。

(小須田 記)

地区交通安全協会の活動紹介



海老名 海老名運動公園での自転車マナーアップキャンペーン



栄 本郷台駅前での自転車マナーアップキャンペーン



逗子 東逗子駅前での自転車マナーアップキャンペーン



川崎臨港 警察署前での自転車マナーアップキャンペーン



津久井 津久井高校へ「自転車LEDライト」を贈呈



相模原 富士見地区での自転車マナーアップキャンペーン



港北 綱島地区での自転車マナーアップキャンペーン



中原 武蔵小杉駅前での自転車マナーアップキャンペーン



相模原北 橋本地区での自転車街頭点検キャンペーン



田浦 追浜駅前での自転車マナーアップキャンペーン

自転車マナーアップ運動

インフォメーション

- 第49回交通安全こども自転車神奈川県大会及び
第7回高齢者交通安全自転車神奈川県大会
 - 夏の交通事故防止運動
 - 二輪車安全運転講習
 - グッドライダーミーティング
 - 表彰審査会
- 7月 7日(土) 横浜文化体育館
7月11日(水)～20日(金)各地区
7月14日(土) 運転免許センター
7月16日(月) 厚木中央自動車学校
7月20日(金) 県安協会館